

NETIS登録番号
QS-180025-A

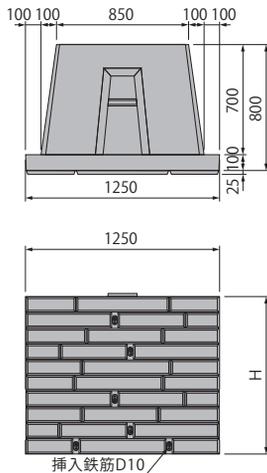


特長

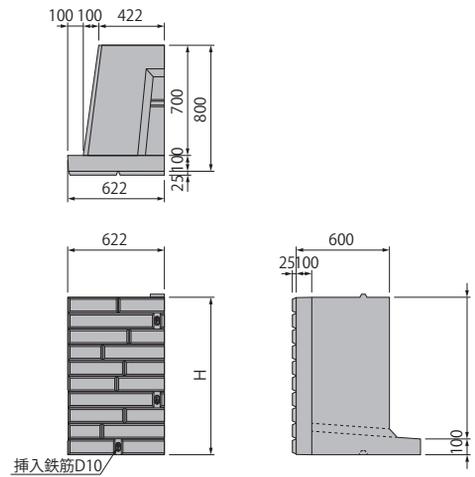
- 河川堤防強化工法において、ドレーン材の表面保護ブロックとして使用する透水性堤脚保護ブロックです。
- 表面がポーラスコンクリート（透水係数 $1.0 \times 10^{-1} \text{ cm/s}$ ）、控えが普通コンクリートで構成されたブロックで、ドレーン材厚、覆土厚に応じて1段積で0.6m～1.0m、2段積で1.2m～1.8mまで対応できます。（土圧算定の背面土質をC1礫質土とした場合）
- 階段積みをすることで1.8m以上の擁壁として使用することが可能です。

製品形状

■ 基本



■ 1/2 （下図は「右」用）



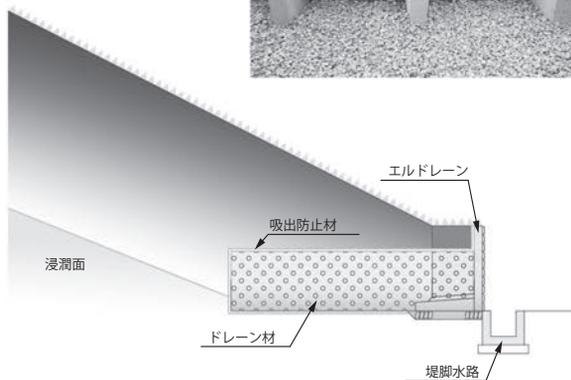
項目	単位	エルドレーン				
		H600型	H700型	H800型	H900型	1000型
外形寸法	mm	1250×800×600	1250×800×700	1250×800×800	1250×800×900	1250×800×1000
壁体背面積	m ²	0.394	0.472	0.550	0.628	0.705
標準重量	kg	475	528	581	634	687
m ² 当り使用個数	個/m ²	1.33	1.14	1.0	0.89	0.80

※内容、数値などは標準的なもので条件などにより変わることがあります。現場の条件などを確認の上、ご検討下さい。

ドレーン材敷設状況



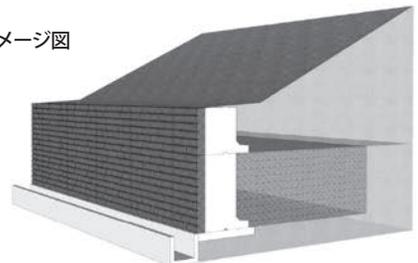
標準断面図



1段積イメージ図



2段積イメージ図



排水性機能

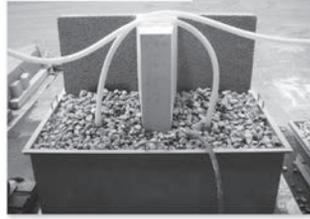
★L型擁壁などの既存擁壁の流用より、優れた排水機能を持続的に発揮できます。

●既存のコンクリート擁壁の流用は、排水管所が水抜孔や目地に限定されるため、閉塞した場合はその周辺の排水が滞ります。エルドレインは、透水性に優れたポーラスコンクリート製の壁面全面と目地排水で持続的に排水することができます。
(透水係数はドレイン工のフィルター材に望ましいとされる $1 \times 10^{-1} \text{ cm/sec}$ 以上を有しています)

●実物の敷設状態による排水性試験では $150 \text{ l/分} \cdot \text{個}$ ($2.5 \text{ l/秒} \cdot \text{個}$) の排水量を確認しています。
(湿潤面水位 40 cm 時、目地部の排水は含まず)

●エルドレインは壁全面から排水できるうえ、目地排水機能も設けられています。

実物敷設状態による排水試験



敷設試験状況

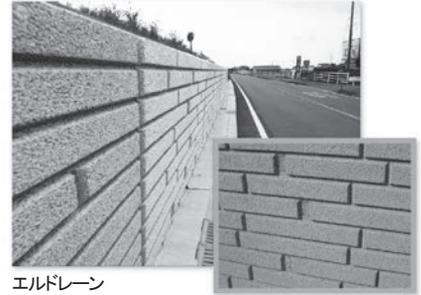


景観性・周辺環境調和

★普通コンクリート壁より低明度でカゴ系壁より安定感があり、景観性や周辺環境との調和に優れています。
普通コンクリート壁は、多数設けた水抜孔や白い壁面が周辺と馴染みにくく、金網と石材がむき出しなカゴ系壁は、人目に付く場所では敬遠される場合があります。
エルドレインはコンクリート壁の安定感と、ポーラスコンクリートと模様の陰影による低明度により、景観性に優れ、また吸音効果も期待でき、特に人目に付き易い市街地・住居横・生活道路に隣接した箇所での使用に適しています。

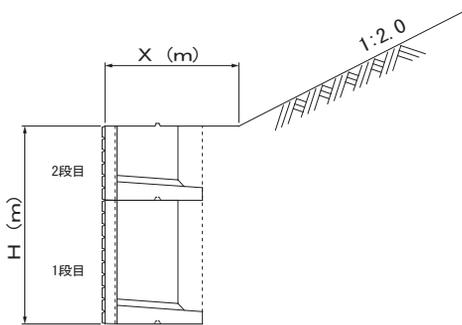


間知ブロック+水抜パイプ



エルドレイン

使用条件



土質算定の背面土質：C 2 (砂質土)

垂直積高さ H(m)	使用規格		最小平場長さ X(m)
	1段	2段	
0.60	H 600	—	0
0.70	H 700	—	0
0.80	H 800	—	0
0.90	H 900	—	0.2
1.00	H1000	—	0.3
1.20	H 600	H 600	0.5
1.30	H 700	H 600	0.7
1.40	H 700	H 700	0.9
1.50	H 800	H 700	1.2
1.60	H1000	H 600	1.5
1.70	H1000	H 700	1.9
1.80	H1000	H 800	垂直積不可 階段積で 対応
1.90	H1000	H 900	
2.00	H1000	H1000	

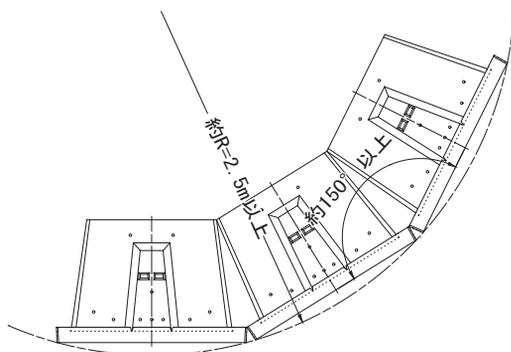
土質算定の背面土質：C 1 (礫質土)

垂直積高さ H(m)	使用規格		最小平場長さ X(m)
	1段	2段	
0.60	H 600	—	0
0.70	H 700	—	0
0.80	H 800	—	0
0.90	H 900	—	0
1.00	H1000	—	0
1.20	H 600	H 600	0
1.30	H 700	H 600	0.2
1.40	H 700	H 700	0.4
1.50	H 800	H 700	0.7
1.60	H1000	H 600	0.8
1.70	H1000	H 700	1.1
1.80	H1000	H 800	1.4
1.90	H1000	H 900	垂直積不可 階段積で対応
2.00	H1000	H1000	

施工性

★外R施工でも踵部が干渉しにくく、端部も現場打ちを少なくでき、きれいな施工ができます。
法勾配のあるブロック擁壁のR施工は目地開きがあり、施工に手間がかかります。また、既存のL型擁壁の流用は外Rでは必ず踵部が干渉するため、踵部カットの特注製品対応となります。
エルドレインは標準品で外R = 2.5m、折れ角 150° までドレイン材 (単粒碎石層) を露出させず施工できます。また 1/2 製品の使用により、起終点や階段工設置個所の端面処理がきれいに仕上がります。

外R施工：2.5m、150° まで対応



1/2製品による端面

